

No.	024	—	2001	事務事業名	学校教育施設修繕・工事業務	細事務事業名		公的関与	1				
PLAN	課名	学校教育課	係名	学事係	電話番号	089-964-4420	メールアドレス	gakkokyoiku@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	施設の維持管理		事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間	年度 ~ 年度 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第3章 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	2 学校教育の充実		主要施策	(1) 学校施設・設備の整備				
	事業の対象	児童・生徒、教職員				根拠法令	学校教育法						
	事業の目的	最終的	学校施設に係る安全性の向上、利便性の追及をはかります。			今年度	学校施設に係る安全性の向上、利便性の追及をはかります。						
	活動内容	①	施設の改修、補修			④							
		②	校舎の耐震化			⑤							
		③											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	最終目標			
		耐震化率	耐震工事が完了した校舎等の棟数/耐震化が必要な校舎等の棟数		%	目標			100	100			
				実績	87	91							
					目標								
					実績								
					目標								
					実績								
DO	予算費目	会計	0		費目名	0		費					
	直接事業費		平成 25 年度決算	平成 26 年度決算	平成 27 年度予算	備考							
		国・県支出金	76,190 千円	84,375 千円	29,310 千円								
		地方債	139,700 千円	126,000 千円	59,100 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	50,442 千円	13,394 千円	16,729 千円								
		計(A)	266,332 千円	223,769 千円	105,139 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	1.200 人	7,313 千円	1.200 人	7,216 千円	1.200 人	7,226 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)		273,645 千円		230,985 千円		112,365 千円						
一次評価者	学事係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	施設の安全管理上不可欠です。												
有効性	事前調査に基づき実施しており、必要な内容を満たしています。												
達成度	緊急性のあるものは早急に対応しており、耐震化については計画を上回るペースで進めています。												
効率性	最も効果のある設計を熟考し、入札により適正な金額で実施しています。												
当面の課題	平成27年度で耐震化率100%は達成されますが、継続して老朽改修や設備改修を実施していく必要があります。												
改計画	大規模改修については改修計画に基づき実施し、小規模な修繕・工事については優先度を精査しながら実施します。												
二次評価者	学校教育課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	学校施設の耐震化事業は、当初の予定通り平成27年度中に完了する見込が立ち、児童生徒が安心して学習できる環境の確保ができますが、引き続き、老朽化施設の改修を行う必要があります。												

No.	024	—	2003	事務事業名	学校施設等大規模改修時本計画策定業務	細事務事業名		公的関与	1				
PLAN	課名	学校教育課	係名	学事係	電話番号	089-964-4420	メールアドレス	gakkokyoiku@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	施設の維持管理		事業運営方法	一部委託	実施計画	該当	事業期間	年度 ~ 年度 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第3章 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	2 学校教育の充実		主要施策	(1) 学校施設・設備の整備				
	事業の対象	学校施設				根拠法令	学校教育法						
	事業の目的	最終的	学校施設に係る安全性の向上等を図るため、計画的に施設の大規模改修を実施します。				今年度	重信中学校体育館、拝志小学校南校舎の実施設計を行います。					
	活動内容	①	実施設計業務				④						
		②	施設の大規模改修工事				⑤						
		③											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	最終目標		
				業務の内容により、指標設定になじまない。			目標						
					実績								
					目標								
					実績								
					目標								
					実績								
DO	予算費目	会計	0			費目名	0			費			
	直接事業費		平成 25 年度決算	平成 26 年度決算	平成 27 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	16,900 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	0 千円	4,266 千円	946 千円								
		計(A)	0 千円	4,266 千円	17,846 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.150 人	902 千円	0.200 人	1,204 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)		0 千円		5,168 千円		19,050 千円						
一次評価者	学事係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	施設の老朽化対策は、施設管理する上で必須であり、特に学校施設はその重要度が高いと考えられます。												
有効性	安全・安心な教育環境の実現は、子どもたちの安全確保はもちろんのこと、地域の防災機能強化の観点からも、計画的に学校施設の老朽化対策に取り組む必要があります。												
達成度	緊急性のあるものは早急に対応し、大規模改修については計画的に進めていきます。												
効率性	基本設計を基に実施設計を行なうことにより、より効率的な改修が期待できます。												
当面の課題	国の交付金縮減に伴い、耐震化事業が優先され大規模改修事業の優先度が低くなったため、財源の捻出について考慮していく必要があります。												
改革計画	実施設計を前倒しすることにより、学校施設環境改善交付金申請に係る建築計画を早期に提出する等、国庫補助の確保に努めるとともに、合併特例債等の有利な起債の活用を検討します。												
二次評価者	学校教育課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	施設は経年により老朽化が進むため、老朽度、危険度等を考慮した事業計画を立て、効果的な改修工事を進めていく必要があります。												